

協賛している「車いす空の旅事業」について

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）、神奈川福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、社会貢献活動の一環として、平成元年から神奈川新聞厚生文化事業団及びフュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会が共催する「車いす空の旅」に協賛しています。

「車いす空の旅」は、主に車いすで生活をしている肢体不自由児者とその家族を沖縄や北海道などに招待する事業であり、職員がボランティアとして同行しています。

この事業には、毎年300万円を支援しています。

| | |
|--------|---|
| 1. 日時 | 平成30年4月12日（木）～14日（土） |
| 2. 場所 | 沖縄県（沖縄美ら海水族館、琉球村など） |
| 3. 主催 | 神奈川新聞厚生文化事業団 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 共催 |
| 4. 参加者 | 肢体不自由児10名とその家族、他ボランティアなど20名 |

5. 概要

羽田空港で行なわれた出発式では、伊坂重憲理事長（会長）が「今年は支援を始めて30周年になる。業界が厳しい状況にあるが、これからも続けていきたい」とあいさつをして見送りました。

参加者は、2泊3日の日程にて、沖縄美ら海水族館や琉球村などの観光地を巡り、一足早い南国の初夏を満喫しました。

青い海と青い空を堪能した参加者からは、「帰りたくない」といった声が上がりました。

なお、この「車いす空の旅事業」については、4月13日、15日付の神奈川新聞にそれぞれ掲載され、5月4日には、神奈川新聞特集記事として掲載されました。

出発式



琉球村

